



公益財団法人日本ダウン症協会主催

協力：太陽生命保険株式会社

2023年 第8回

ダウン症支援セミナー

「青年期・成人期・高齢期を考える」

JDS に寄せられる相談のなかで、青年期・成人期のダウン症のある人たちの問題が増えてきています。笑わない、話さない、身の周りのことができない、動作がゆっくりになる、昼夜が逆転する、急に泣き出す、暴力をふるう、家から出られないなど、これまでできていたことから急に変わることもあります。最近ではダウン症のある方も長生きになり「認知症でしょうか」という相談も聞かれるようになりました。高齢化への対応も必要となっています。『急激退行』を正しく知ること、青年期・成人期の問題なのか、加齢による変化なのか、認知症を意識しなければいけないのか、専門家の先生方と共に解決への糸口を探っていき、ダウン症の支援の在り方を考えていくセミナーです。

今年度は会場での開催となります。後日オンデマンドで配信いたします。

講師プロフィール

菅野 敦先生 (東京学芸大学名誉教授)

北海道出身。大学卒業後、知的障害特別支援学校に勤務。その後、知的発達障害児・者の学習や発達に関することを学び、研究するために、大学院に入学。博士課程修了後、東京学芸大学に勤務。一貫して、知的発達障害、なかでもダウン症候群を対象に、乳幼児期から成人期までの発達特性及び各ライフステージにおける発達課題の解明を行う。そこから得られた知見をもとに、「生涯発達支援」の視点から指導・支援のための方法や教育課程・支援計画に関する研究を目指す。

講師プロフィール

木下 大生先生 (武蔵野大学人間科学部教授)

知的障害者通所授産施設指導員、国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究部研究科係長、聖学院大学人間福祉学部准教授を経て現職。知的障害で認知症症状がある人の支援、知的障害で罪を犯した人の支援、ソーシャルワーク(主としてマクロ領域)を研究のテーマとしている。単著に『認知症の知的障害者への支援：「獲得」から「生活の質の維持・向上」へ』(2020年 ミネルヴァ書房)、訳書に『知的障害と認知症：家族のためのガイド』(2021年、現代人文)など多数の著書がある。

プログラム

事前視聴

【参加費】

4,000円(税込)

(A/B共通)

7月29日～9月10日限定配信を予定
ダウン症に関する基礎知識についてオンラインで事前視聴
「ダウン症支援基礎編1」「ダウン症支援基礎編2」
講師：菅野敦先生(東京学芸大学名誉教授)

A 会場での直接聴講(150名)

【開催日時】8月6日(日)12:30～16:30

【会場】東京日本橋タワー 31階 太陽生命会議室

東京都中央区日本橋2-7-1(地下鉄銀座線・東西線・浅草線「日本橋駅」直結)

1部 12:35～14:35

青年期・成人期を考える「正しく知ろう急激退行のこと!!」

講師：菅野敦先生(東京学芸大学名誉教授)

2部 14:45～16:30

ダウン症のある人の高齢化を考える

「知的障害のある人の認知症の考え方と支援!!」

講師：木下大生先生(武蔵野大学人間科学部教授)

B オンデマンド配信

Aの講義を後日(8月14日以降準備が整い次第)、配信でご視聴いただきます。

お申込はこちら

【申し込み期日】6月26日(月)～7月25日(月)

※Aは定員になり次第締め切ります

【申し込み方法】Peatixからのお申し込みとなります(詳細はJDSのホームページに掲載)

【参加対象】障害児者施設職員・相談支援専門員・保健師・学校教員・医者などの専門職の方々

会場参加

オンデマンド

